

令和5年度第2回神戸市教育委員会会議の結果

※政策形成過程を公表する趣旨から、非公開とした会議項目のうち、会議後に方針等が公表されたものは、議論の過程の一部についても記載しています。

協議事項4 インクルーシブ教育のさらなる推進について

特別支援学校と小・中学校の交流及び共同学習の状況等、本市におけるインクルーシブ教育の現状とさらなる推進について協議した。

交流件数の多い学校をモデルケースとして紹介する等、広報をより積極的に行い、インクルーシブ教育のさらなる推進に繋げてほしい等の意見があった。

協議事項5 令和5年度の広報の展開と広聴機能の強化について

本市での情報発信等の広報や保護者等からの相談等の広聴について、現状と課題について協議した。

広報については、対象や趣旨を明確にし、よりの確に伝える必要があり、広聴については、相談しやすいツールを用いることや相談に対応する部署を一本化する等、相談者が安心して相談できる仕組みが必要である等の意見があった。

協議事項6 教員の人材確保について

これまでの教員確保に関する取り組みのほか、令和5年度における教員の人材確保について協議した。

これまでも、採用制度の見直しや多忙化対策等を行ってきたが、効果的な取り組みを積極的に行う必要がある等の意見があった。

協議事項7 総合的な不登校支援について

本市における不登校支援に係る基本方針及び総合的・体系的支援策の策定等、今後の施策展開について協議した。

学校に登校することが目標ではなく、児童生徒の個々の状況に合わせて、社会的自立を目指すために、多様な学びの場を提供し、児童生徒が人とつながる機会を設けていくことや支援する側にその意識を醸成することが重要である等の意見があった。